

育成プログラム報告書

・ハロウィンパーティー

日時：2020年10月30日（金）16時30分～

人数：児童8名・スタッフ4名・ボランティア2名 計14名

内容：3年生女子4名がダンスを発表しました。ガチャガチャをするためのコインが入ったボールを探す宝探しをした。ビンゴゲームで景品（お菓子の詰め合わせ）を渡しました。夕食の時はハロウィン柄のランチョンマットで食事をしました。

・クリスマスパーティー

日時：2020年12月18日（金）16時30分～

人数：児童12名・スタッフ5名・ボランティア3名

内容：サンタに変装したスタッフが登場。サンタさんがバルーン教室をしてくれて子どもたちと一緒に犬を作る。苦戦しながら、困っている子に教えたりしてみんなで完成することができた。恒例になってきつつあるビンゴゲームを行う。

景品（お菓子の詰め合わせ・飴とチョコのつかみ取り・好きなお菓子3個・文房具のセット）をビンゴになった子どもから渡していき、みんな一喜一憂しながら楽しそうにしていた。子どもたちに輪になってもらって子どもたちが、準備していたクリスマスカードをクリスマスソングを流している間に回してもらい止ま

ったところでみんな手元にあるカードを見て喜んでいました。

ボランティアで来てくれていた方がカードマジックをしてくれるということで急遽出演してもらいました。

夕食もいつもと少しだけ違う、カレーとフルーツ 2 種類、トマト、ピザ 2 種類、ケーキ 2 種類をバイキング形式で行い、みんな美味しそうに食べていました。

毎年、宮崎市や学校医、近所の保育所などにも声をかけていましたが今年はコロナの影響で中止。

・豆まき

日時：2021年2月2日（火）17時20分～

人数：児童6名・スタッフ5名

内容：豆まき用の豆菓子などを、子どもたちに選ばせました。

豆まきのやり方を説明する。バルーンで作った鬼のお面をスタッフが付け、密にならないように3人ずつの2チームに分かれて豆まきを行った。怖がる様子もなく容赦なく鬼に豆を投げていた。玄関まで追い払い終了しました。

夕食後、インターネットで見つけた禰豆子と炭治郎のお面をプリントアウトし、鬼退治しながら仲よく遊んでいました。

活動報告書

報告日付:2021年4月15日

事業ID:2019518378

事業名宮崎県宮崎市における第三の居場所の運営
(最終年度)

団体名:(一社)日本プレミアム能力開発協会

事業完了日:2021年3月31日

1.事業内容

第三の居場所の運営

(1) 期間:2020年4月~2021年3月

(2)場所:宮崎県宮崎市

(3)内容:「第三の居場所」をつくり、そこで社会的相続を補完するため、拠点には専門スタッフを配置し、子ども達の生活習慣形成や非認知能力・学習意欲向上を図る。

2.事業内容詳細:

対象学校の児童生徒に放課後から夜21時までの間、安心して安全に過ごすことのできる居場所を提供し、宿題の補助や読み聞かせ、体験プログラムによって学習支援を行いながら、ニーズに応じて食事を提供し、歯磨き、入浴に関する生活習慣の形成をサポートした。また、学校や行政等各種関係団体とのケース会議に参加した他、保護者への相談援助業務を行うことによって子ども達が安心して過ごせる「第三の居場所」外における育成環境の醸成にも寄与した。

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- ① 拠点利用児童の募集
- ② 児童への居場所・読み聞かせ、学習支援・食事の提供
- ③ 保護者、地域、行政との関係構築
- ④ 全国展開に耐えうる事業モデルの構築

【目標の達成状況】

1. コロナの影響があり、募集しても集まらなかった。
2. 全開所日において実施した。コロナで学校が休校になった時も実施。
食事の提供についてはコロナのこともありパーテーションを用意し、1人1人の間隔を広げ対応した。
学習面においては必要な児童には1対1で対応し、時間をかけて問題を解かせた。
3. 《保護者との関係性》
 - ・ お迎え時には必ず、その日の子どもの様子を報告する。その際に保護者へ悩み事・心配事はないか聞き、信頼関係を築いていくことを重要視した。家庭環境で問題があった場合はすぐに宮崎市の子育て支援課に報告をしていた。

《地域との関係性》

- ・ 昨年に続き地域ケア会議に参加した。
- ・ 建物の入り口にどんな施設なのか分かるように壁面制作を貼り、通行人や地域住民の方に啓蒙した。

《行政との関係性》

- ・ 小学校の児童クラブ利用者にチラシを配布した。
- ・ 児童クラブと併用している児童がいるため、児童クラブの先生と情報共有をしている。

4. 地域や行政との繋がりを重視しつつ、社会的相続を補完するための知見を蓄積し、他拠点にも展開できる仕組みを採用した。

たとえば、絵本の読み聞かせのやり方を工夫したところ、子ども達が絵本について興味を持ち、個人で読書をする姿や、子どもがお互いに読み聞かせをする姿が見始められ、音読が苦手な子どもも参加するようになった。

コロナが話題になり始めた頃は、マスクの着用、消毒等の感染予防についての重要性が理解できていなかった。しかし、家庭やニュース、学校等での会話に触れながら、拠点にて感染予防の重要性を伝え、みんなで協力し合って感染予防に努めた。

5. その他 特になし。